

IBM Datacap on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、会社、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者をいいます。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別個の「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM Datacap on Cloud は文書キャプチャーのためのプライベート・クラウド・ソリューションで、以下を提供します。

- a. 以下を行うキャプチャー・アプリケーションの作成および導入:
 - サポート対象のイメージ形式および電子文書形式 (例: PDF、TIF、JPG、DOC、RTF、その他) の受信文書の受け入れ。 .
 - スキャナー、FAX、電子メール、ファイル・システム、およびモバイル・デバイスを含む、複数ソースからの文書の受信。
 - 当該文書へのサポート対象のイメージ拡張機能 (自動回転、ゆがみ補正、ドット除去など) の適用。
 - データ認識およびデータ抽出技法の適用 (Datacap でサポートされる「光学式文字」認識、「インテリジェント文字」認識、「光学式マーク読み取り認識」、「バーコード認識」を含みます)。
 - 自動化されたページ認識およびデータ抽出のテンプレートとしてのページおよび「フィンガープリント」の定義。
 - 自動化された規則による、または手動によるデータ検証
 - 代替形式への文書の変換。
 - ディレクトリーまたはサポート対象の IBM クラウドへのエクスポート。
 - Apple App ストアまたは Google Play ストアから利用可能な Datacap Mobile アプリ経由で提供する「クラウド・サービス」へのアクセス。
 - セキュアな仮想プライベート・インフラストラクチャー
- b. 災害復旧を支援する、2 次ロケーションへの実稼働データの複製
- c. 最大 4 TB のアウトバウンド帯域幅 (別個に引用される高めの帯域幅)
- d. 1 日 24 時間 週 7 日の実稼働環境モニタリング、転送中および静止時のデータ暗号化、ウィルス・スキャン、侵入検知 / 侵入テストの各サービス、ソフトウェア・パッチ、ならびにソフトウェア更新 (別途見積もられるカスタムの構成や拡張に必要なデータ移行のサービスや活動)。
- e. アクティブ・ディレクトリーの統合
含まれるオプション: (Microsoft Active Directory または IBM Tivoli Directory Server)
 - オンプレミスのお客様の LDAP に再複製する「クラウド・サービス」の LDAP サーバーの認証
 - お客様のドメインにある「クラウド・サービス」で (読み取り専用) ドメイン・コントローラーを提供します。
 - お客様はすべてのエンド・ユーザーのクラウド環境へのアクセス (グループ、ID、アクセス) を管理します。
 - お客様に対する完全な管理者権限
 - (お客様のドメインではない) お客様がユーザーを管理する「クラウド・サービス」の LDAP サーバーの認証。

- 認証のためにオンプレミスのお客様のドメイン・コントローラーへポイントする。
 - パフォーマンスへの影響の可能性
 - セッションの有効期間の認証

別個に引用されたその他の構成 (例: 「クラウド・サービス」への LDAP ファイル・ディレクトリーの手動またはスクリプトによる引用。SAML、MS フェデレーション・サービス、その他を含むフェデレーション・オプション)。

作業指示書に基づき、追加料金でカスタム・ソリューションの導入、構成、および統合の各サービスを利用できます。

1.1 ベース・サービス・オファリングの使用許諾

お客様は、「ベース・サービス・オファリング」に対するサブスクリプションを以下のとおりを取得しなければならないものとします。各「ベース・サービス・オファリング・インスタンス」には以下が含まれます。

- 実稼働環境
- 1 週間の文書保管に十分対応できる一時記憶

Datcap on Cloud の各構成 (Bronze、Silver、Gold および Platinum) は、「標準的なキャプチャー・ワークロード」をサポートするために「クラウド・サービス」の容量を反映し、計画目的のために使用できません。

「標準的なキャプチャー・ワークロード」とは次のように定義されます。

- PDF 形式または TIF 形式の受信ファイル、B&W、良質である
- 5 ページの文書である
- 「軽い」イメージ強化 (デスキュー、回転、その他) である
- OCR の最初のページのみである。5 ～ 10 フィールドを抽出する。
- PDF または TIF として保管する。
- 最大 7 日間の一時的保有ディレクトリーにメタデータおよび「イメージ」をエクスポートする
- 24 時間の日々の処理時間に基づく

その他のワークロードが可能です。シンプルなワークロードほどスループットが高くなる場合があることにご留意ください。複雑な処理ほどスループットが低くなる可能性があります。

1.1.1 IBM Datcap Bronze

この構成は、以下により、組織、基幹業務、または部門をサポートすることを意図しています。

- 「標準的なキャプチャー・ワークロード」に基づき、1 日当たり最大 50,000 件の文書を処理すること。
- 最大 30 人の同時アクティブ・ワーカー
- Bronze 構成では、1TB のストレージが提供されます。追加の TB ストレージを別個に購入できます。

1.1.2 IBM Datcap Silver

この構成は、以下により、組織、基幹業務、または部門をサポートすることを意図しています。

- 「標準的なキャプチャー・ワークロード」に基づき、1 日当たり最大 100,000 件の文書を処理すること。
- 最大 50 人の同時アクティブ・ワーカー
- Silver 構成では、1TB のストレージが提供されます。追加の TB ストレージを別個に購入できます。

1.1.3 IBM Datcap Gold

この構成は、以下により、組織、基幹業務、または部門をサポートすることを意図しています。

- 「標準的なキャプチャー・ワークロード」に基づき、1 日当たり最大 500,000 件の文書を処理すること。

- 最大 100 人の同時アクティブ・ワーカー
- Gold 構成では、3TB のストレージが提供されます。追加の TB ストレージを別個に購入できます。

1.1.4 IBM Datacap Platinum

この構成は、以下により、組織、基幹業務、または部門をサポートすることを意図しています。

- 「標準的なキャプチャー・ワークロード」に基づき、1 日当たり最大 1,000,000 件の文書を処理すること。
- 最大 500 人の同時アクティブ・ワーカー
- Platinum 構成では、5TB のストレージが提供されます。追加の TB ストレージを別個に購入できません。

1.2 オプションの使用許諾

1.2.1 IBM Datacap Insight Edition の使用許諾

IBM Datacap Insight Edition では、以下を含むコグニティブ・キャプチャー機能のセットが提供されます。

- 複雑で多様な文書および予測不能な書式設定の文書について ID、認識、分類およびデータ抽出を自動化する手段を組織に与える、アクション、機能、および Datacap の事前定義ルールセット。
- 文書タイプを判別する、文書に関する未定義項目の値の組を検索する、ビジネス構成 (顧客番号など) を特定して解決する、および人間、企業、業界、その他のエンティティを特定するのに役立つ、各ページの構造およびコンテンツを検証するための分析。

使用可能な Insight Edition の使用許諾は次のとおりです。

a. IBM Datacap Insight Edition Add-On Bronze

IBM Datacap on Cloud Bronze の使用許諾を購入した組織ならびにコグニティブ・キャプチャーおよび文書処理の拡張機能を必要とする組織に提供されます。

b. IBM Datacap Insight Edition Add-On Silver

IBM Datacap on Cloud Silver の使用許諾を購入した組織ならびにコグニティブ・キャプチャーおよび文書処理の拡張機能を必要とする組織に提供されます。

c. IBM Datacap Insight Edition Add-On Gold

IBM Datacap on Cloud Gold の使用許諾を購入した組織ならびにコグニティブ・キャプチャーおよび文書処理の拡張機能を必要とする組織に提供されます。

d. IBM Datacap Insight Edition Add-On Platinum

IBM Datacap on Cloud Platinum の使用許諾を購入した組織ならびにコグニティブ・キャプチャーおよび文書処理の拡張機能を必要とする組織に提供されます。

1.2.2 IBM Datacap Storage Add-On

お客様が、選択された構成に含まれる TB ストレージを超える場合、お客様は追加の使用許諾を購入する必要があります。

1.2.3 IBM Datacap Non-Production Environment

お客様はテストおよび開発の目的で別途インスタンスを取得することができます。この環境は、実稼働目的に使用することはできません。

- 「非実稼働環境」の構成は Bronze 構成と同じサイズに設定されています。
- 「非実稼働環境」では、高可用性や災害復旧は提供されません。

1.2.4 IBM Datacap Dedicated Add-On

お客様は選択された仮想プライベート環境をシングル・テナントのプライベート・インフラストラクチャーへアップグレードできます。これには最大 20 TB のアウトバウンド帯域幅 (別個に引用される高めの帯域幅) が含まれます。

2. セキュリティーの内容

「クラウド・サービス」は、IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」(<https://www.ibm.com/cloud/resourcecenter/content/80> で入手可能) および本項で規定される追加条件に従うものとし、IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」が変更されることがあっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティーのレベルが低下することはありません。

本ソリューションのデータの分類は、クライアント・センシティブと分類されているデータに初期設定されています。意図されたワークロードについてお客様から要求があった場合、IBM はお客様と協力してその他の規制要件に対処します。また、IBM はソリューション・アーキテクチャーおよびサービス料金に影響を及ぼすことができます。すべてのデータは、FIPS 1402 レベル 1 に準拠したディスク全体の暗号化を活用して保護されます。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) を提供します。「SLA」は保証ではありません。

「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」の可用性に影響を及ぼした事象について最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して重要度 1 のサポート・チケットを記録しなければなりません。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM に合理的な支援を行わなければならないとします。

「SLA」を達成することができない場合のサポート・チケットの請求は、契約月の末日から 3 営業日以内に提出しなければなりません。有効な「SLA」の請求に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間 (以下「ダウンタイム」といいます。) に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティー問題もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 1/12 の 50% を超えないものとし、

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (「請求」の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」* の割合)
<99%	5%
<97%	10%
<95%	25%
<90%	50%

* 「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、「請求」の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

例:「契約月」における「ダウンタイム」が 440 分である場合

30 日の「契約月」における合計 43,200 分 - 「ダウンタイム」440 分 = 42,760 分 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 合計 43,200 分	= 「契約月」における 98.8% の可用性につき 5% の 「可用性クレジット」
---	--

4. 事業継続性

「クラウド・サービス」は、以下に定義された事業継続性の目標をサポートするよう構成されています。事業継続性の目標は、1 次コンピューティング・ロケーションでの災害発生後、合理的に想定される短期間のうちに、データの損失を最小限に抑え、組織の重要なビジネス機能が運用状態にまで復旧していることを確認するのに役立ちます。1 次コンピューティング・ロケーションで事故が発生した際に確実に 2 次ロケーションへのフェイルオーバーが行われるとの判断が下されたら、下記の復旧目標をサポートするために、IBM が事業継続性計画および関連する活動を実行するものとします。本「クラウド・サービス」については、1 次ロケーションでのサービスがリストアされるまで実稼働ワークロードを受け入れるために非実稼働環境のリフレッシュおよび再構成が実行されます。

事業継続性の目標	
目標復旧時点	4 時間
目標復旧時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 次の同等の「ベース・サービス」使用許諾を購入した場合には連続して 4 時間。 ● 2 次の「ベース・サービス」使用許諾を購入しない場合には、少なくとも連続して 24 時間。

5. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」に対する「テクニカル・サポート」が、オンライン問題報告システムを介して提供されます。「テクニカル・サポート」は「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、個別のオフリングとして提供されるものではありません。

重要度	重要度の定義	サポート時間内の 目標応答時間
1	重大な事業影響/サービス・ダウン 事業上の重大な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことによって業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。	1 時間以内
2	著しい事業影響 サービスのフィーチャーまたは機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。	2 営業時間以内
3	軽度の事業影響 サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響が表れていないことを示す。	4 営業時間以内
4	最小の事業影響 問い合わせまたは非技術的な依頼。	1 営業日以内

6. エンタイトルメントおよび課金情報

6.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. 「**インスタンス**」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に規定されている課金期間中にアクセスおよび使用が可能となる「クラウド・サービス」の各「インスタンス」のために十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. 「**テラバイト**」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。1テラバイトは、2の40乗バイトです。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」によって処理される「テラバイト」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

6.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

7. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるのか、継続使用ベースで続行されるのか、期間満了時に終了するのかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の90日前までに書面により更新しないことを通知する場合は除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続使用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

8. イネープリング・ソフトウェア

本「クラウド・サービス」には、「クラウド・サービス」期間にわたって、「クラウド・サービス」のお客様による使用に関連してのみ使用することのできるイネープリング・ソフトウェアが含まれます。この「クラウド・サービス」に含まれる「イネープリング・ソフトウェア」は **Datacap Mobile SDK** です。